



私、今日からトラックドライバーになります!

第6話

「指差呼称確認」で安全・安心をお届け

綾瀬小陽 (22)

仕事にも慣れてきて、先輩をいじる余裕が出てきた綾瀬。最近、コスプレに興味あり!?



次のページで「確認の大切さ」を解説!



荷物を届けるドライバーにとって、配送先の担当者さまに渡す伝票(送り状)は、荷主企業からお預かりした「大切な商品」です。そして、出荷主の担当者さまに必ず返す伝票(受領書)も汚れや折れがない状態で返却することで、配送を品質良く終えた証になります。伝票は運賃との引換券になる「金券」と考え、「紙幣の新札と同様の状態」で返却する気持ちで扱います。そのためダッシュボードに置いた伝票が風で車外に飛ばされたり、運転中に伝票が足元に落ちて靴底の跡をつけたりしないよう要注意。伝票はバインダーに挟んで保管し、大切に持ち歩く習慣をつけましょう。

伝票は「大切な商品」です
なくさず・汚さず・折り曲げず



個人宅への配達伝票には、電話番号を含む連絡先だけでなく、購入者の好みや判別できる個人情報も記載されています。また、小売店への納品伝票は仕入れ単価が記載されている場合、伝票を間違えて渡してしまうと営業情報の流出に直結します。よって、伝票は「そのまま大切な情報を含んでいる」とも念頭に置きましょう。そして伝票は「見るもの」ではなく「読むもの」です。伝票に記載されているのは文字と数字ですから、「見る」以上に、声に出して「読みながら」内容を確認していきましょう。

「見る」から「読む」へ
伝票は声を出して確認！



マンガ制作: ad-manga.com

高柳 勝二 (たかやなぎ かつじ)

株式会社 プロデューブ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデューブ設立。中小運送会社からの依頼が多い“提案型”研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい・眠くならない・わかりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度より国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。

一人、一秒、一回の確認が、 プロドライバーの「指差呼称確認」

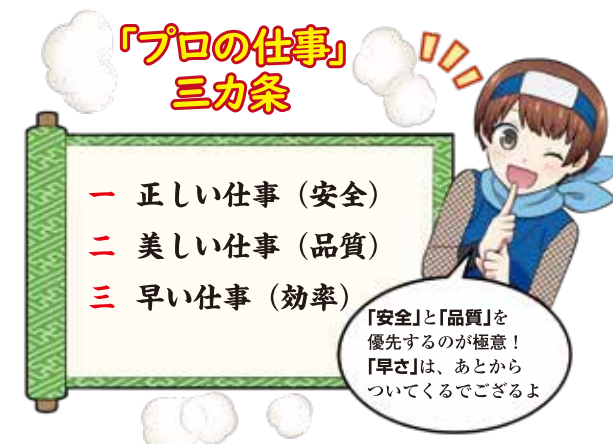
目・指・口・耳を使って、安全・安心を確保しましょう。

誰もいない時や時間がない時は
「指差呼称確認」

安全とは目に見えないものです。しかし、「安全」にきちんと取り組んでいるように見える人は、「目」に見える安全確認を実践しています。確認方法の中でも、「指差呼称確認」は自身の安全を守るだけでなく、その行為を見た周囲も安心させる取り組みです。

「指差呼称確認」とは、自分の目で確かめたことを、指を差し、声を出して大丈夫と認める方法。一人、一秒、一回の確認でミスを発見できます。「確認する」ことをルールにして、「ミスをしない」という結果を目指しましょう。荷崩れによる商品の破損を「たまたま」起こしていないだけではプロドライバーとはいえません。それを起こさないよう「確実に確認する」というルールを守るのがプロドライバーなのです。製造業では「現場をカイゼン」が有名ですが、運送業では「現場でカクニン」が有効になります。

仕事で早さを優先すれば間違ったり雑になったりして非効率な仕事になってしまいます。プロの仕事の優先順位は、まず確認をしてミスをしない「正しい仕事」をすること。次に音を立てない、ていねいな作業で品質を高める「美しい仕事」をすること、おのずと効率の良い「早い仕事」につながっていくのです。



<p>貨物の正しい積載方法</p>	<p>貨物が荷崩れをして、道路上に落下すれば道路交通法の対象にまでなってしまいます。各社で積載や「確認方法のルール」を取り決めて、荷崩れや誤配送を防止すれば、商品・法律・時間を守れるでしょう。そして、積載方法が万全ならば、危険回避のための急ブレーキを踏むことができ、自身を交通事故から守ることもできます。「荷降ろし時に楽な手順」を選択する前に、「無事の到着」を優先した積載方法を実践しましょう。</p>
-------------------	---

国土交通省「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針 -貨物の正しい積載方法-」より